

学部優秀部門奨励金

(経営学部 2021年3月卒業)

建学の精神とともに

甲南大学での4年間の学生生活を振り返り、私はさまざまな経験を通して「グローバルな視点」と「自主自立の精神」を身につけることができたと感じております。学業面においては、学問を自由に突き詰めることができる喜び、そして自主的に学習の目標設定・計画立案を行い、着実に達成することの重要性を学びました。

私は、経営学科目と国際言語文化科目の両領域を軸に学習を進めてまいりました。以前から海外(特に欧米)の自動車・航空産業に関心を抱いており、大学では国際経営学と工業経営学を中心に専攻し、工業における多国籍企業のビジネスの事例を用いて国際経営の本質について学びました。卒業論文では『ドイツの自動車産業における現状と未来』と題して、世界的なモビリティトレンドとなりつつある自動運転や電気自動車の普及を目指すために、現状の課題とその解決策について論じ、世界でどのような行動指針を定めるべきであるかを執筆いたしました。同時に、私は実践的な言語運用能力の向上を図るべく外国語学習にも積極的に取り組み、3年間を通して英語・ドイツ語の授業を履修いたしました。そしてTOEIC公開テストやドイツ語技能検定試験などの資格の取得にも挑み、2年次にはドイツ東部のザクセン州・ドレスデンへ留学いたしました。実際に現地の語学学校へ通いながら寮生活を送り、現存する歴史的建造物に囲まれながら過ごした時間は、大学の授業のみでは決して得ることができない貴重な体験となり、ドイツの言語・文化の両側面から知識を深めることができました。また、他人に頼らず自分自身で考えて行動することを常に意識し、トラブルが発生した際にも臨機応変に対応できたことは、その後の自己の成長につながったと考えております。

この4年間の学生生活は、自分自身にとって非常に有意義でかけがえのないものとなり、また甲南大学の教育制度でなければ実現できなかったものであると確信しております。「学部成績優秀者」、「外国語科目成績優秀者」、そして「甲南100周年記念荣誉特待生」に選出していただいたことは、これまでの継続的な努力を認めていただいたものであると感じ、大変光栄に思います。

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の急速な感染拡大により、都市封鎖(ロックダウン)や医療現場の逼迫・崩壊など、世界各地でさまざまな影響が及んでおります。私は、今春から神戸に本社を置くIT企業に就職し、SE(システムエンジニア)として社会人の道を歩みます。今後の動向が見通せず不安な時期を過ごしておりますが、この4年間の学生生活で培った「グローバルな視点」と「自主自立の精神」を胸に刻み、日本国内だけではなく海外の情勢にも目を向け、自分自身にとって本当に必要な情報とはなにかを適切に選択し、常に冷静な思考と判断ができる人格を備えた社会人になりたいと考えております。甲南大学の「建学の精神」を忘れず、どのような状況でも立ち向かっていくビジネスパーソンになることができるよう、大学卒業後も自信をもって精一杯活動してまいります。